保幼小中一貫教育だより　～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～

豊能の風

発行：豊能町教育委員会　　第４２号　　Ｒ３．３．１７

ご卒園・ご卒業おめでとうございます

各学校園所で修了式・卒園式・卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため，各学校園所では，式の時間の短縮や参列者を制限したり，在校生からの動画メッセージを映し出したりするなど工夫を凝らして開催されました。

卒園児・卒業生の皆さん，新しいステージでのご活躍を期待しています。

吉川保育所	東ときわ台小学校	東能勢中学校
緊張しながらも修了証書を受け取る子どもたちは，自信に満ちて頼もしく１年生への期待が膨らんでいます。 保護者の皆さんと一緒にあたたかい拍手で祝うことができました。	「旅立ちのことば」の中では，仲間と共に歩んでこられたこと，家族に支えられ成長してこられたことに，感謝の気持ちをこめました。 子どもたちの笑顔に包まれた華やかな卒業式となりました。	あたたかな春の日に，第 74 期生 33 名が，晴れ晴れとした表情で卒業式に臨みました。 答辞では，家族や仲間，先生方へ，3 年間の感謝の気持ちを伝えました。

※紙面の都合上，吉川保育所，東ときわ台小学校，東能勢中学校の様子を掲載しています。

「とよの未来科」創設にむけて
～ふるさと♡とよの⑧～

【豊能町の石の文化財②】

豊能町では，江戸時代の相撲力士の碑（相撲碑）が各方面に見られます。左の写真は，府道 109 号線切畑口付近にある「錦山塚」です。当地では，大阪藤嶋内の絹川親方に属する相撲力士が多く，絹川部屋のお弟子さんたちによって建立されたと言われています。江戸時代に，庶民の娯楽として発展した相撲に対する熱が，豊能町にも伝わっていたことがうかがえます。

歴史を紐解いていくと，当時の人々の思いに触れることができたり，生活を想像したりすることができます。豊能町の先人たちが残した大切な文化財を「とよの未来科」の学習を通して，未来を担う子どもたちに引き継いでいきたいと考えています。

小学校高学年からの「教科担任制」について

文部科学省の中央教育審議会は，2020 年代を通じて実現をめざす「令和の日本型学校教育」として答申をとりまとめました。その中で，令和４(2022)年度を目途として，小学校高学年に各教科の専門性をもった教員が教える「教科担任制」を本格導入することが盛り込まれました。児童の心身が発達し，一般的に抽象的な思考力が高まる段階で各教科等の学習内容が高度化する高学年において「教科担任制」が導入されることとなります。

小学校高学年における教科担任制導入のねらいには，以下のようなことが挙げられています。

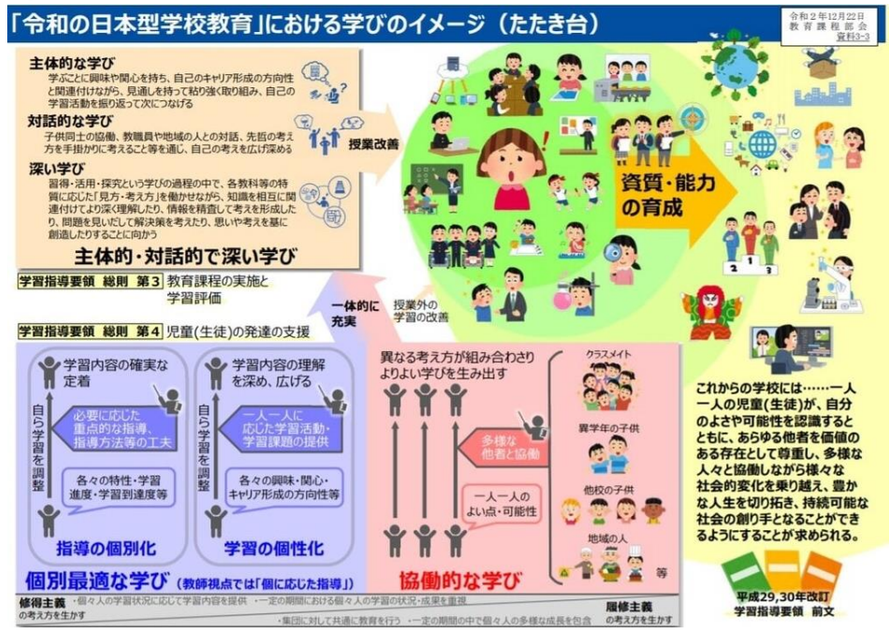
（教科担任制導入の趣旨・ねらい）

- 教材研究の深化等により，高度な学習を含め，教科指導の専門性を持った教師が多様な教材を活用してより熟練した指導を行うことが可能となり，授業の質が向上。児童の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図る。
- 教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により，学校の教育活動の充実や教師の負担軽減に資する。
- 複数教師（学級担任・専科教員）による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資する。
- 小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続（中１ギャップの解消等）を図る。

文部科学省：義務教育９年間を見通した教科担任制の在り方に係る論点メモ（案）

一方で，小学校で通常行われている学級担任がほぼ全教科を教える「学級担任制」には，
①学力や学習の状況を継続的かつ総合的に理解し，きめ細かな指導に生かすことができる。
②生活上の課題も含めて総合的な指導ができる。
などの長所もあります。

本町でも，中期における５年生から段階的に教科担任制の導入を進めていきます。児童の実態を踏まえ，「学級担任制」のよさと「教科担任制」のよさを兼ね備えた効果的な指導体制を検討していきます。



https://www.mext.go.jp/content/20201222-mxt_kyoiku01-000011778_7.pdf